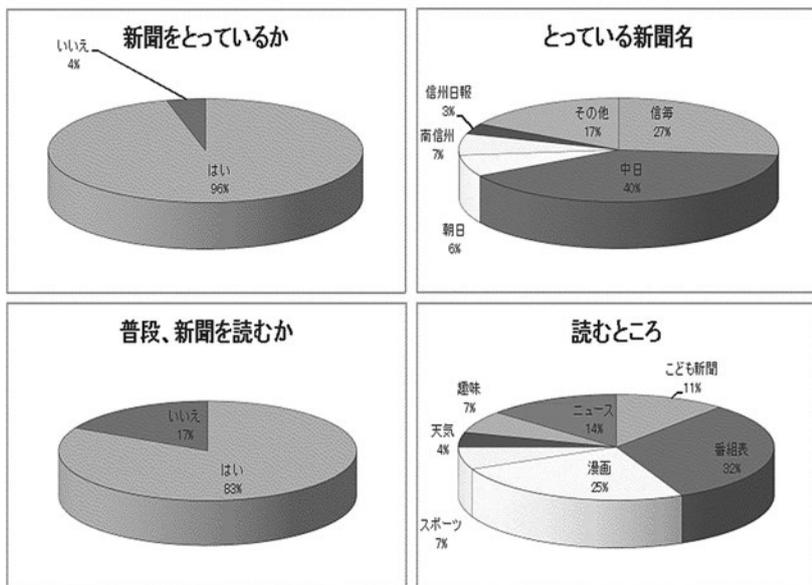


新聞を学習教材として活用し、国語の力を高めることができる指導のあり方 ～目的をもって新聞を読み、表現する学習を通して～

指定校 2 年次 飯田市立鼎小学校 鈴木 伸幸

I 本校のN I Eの現状

指定校 2 年次となる今年度は、昨年度とは異なる学年である 4 年生を対象に新聞に関するアンケート調査を行ったところ、以下のような実態が明らかとなった。



アンケート結果から、家庭での新聞購読状況や読むところなどは、学年が異なっても同じような実態であることがわかった。ただ、「普段、新聞を読むか」に対しては、80%以上の子が読んでいることがわかる。また「読むところ」に対しても、テレビ欄やスポーツ記事を見るということは、新聞から自分にとって必要な情報を得ようとしていることはうかがえる。新聞のよさの1つとして、テレビで放送されるニュースと違い、自分の好きな記事から読むことができる。つまり新聞は自分に必要な情報から得ることができる

し、必要な情報だけをすぐに得ることもできる。しかし、その反面、興味のないそのほかの記事については必要感がないため、読もうという意識はないと思われる。

そこで、N I E 研究部会では、全校研究テーマ「共に学ぶ喜びの中で、自己を高めるための指導はどうあったらよいか～めあてをもって追究できる児童を目指して～」をうけ、「めあてをもって追究できる児童」につながる具体の姿を、新聞をもっと身近に感じ、目的をもって新聞を活用しようとし、さらに国語の力を高めていく姿として求め、その指導のあり方を研究することとした。

まず、昨年度の成果と課題をふまえ、以下の2つの点から子どもたちが新聞を身近に感じ、新聞のおもしろさやよさを実感できるようにしていきたいと考えた。同時に、子どもたちが興味をもつだけでなく、指導する教師自身も新聞を学習の教材や資料として、どのように利用・活用できそうか検討していく必要があると考えた。

- ① 日常的に新聞に触れることのできるような環境を設定する。
- ② 新聞で「〇〇の力がついた」「〇〇ということがわかった」という実感がもてるような国語の学習を検討し、設定する。

さらに、新聞に書かれている記事の内容は、単にその時々のできごとを伝えたものだけでなく、記事を書いた記者の見方や考え方も含まれている。また記事の内容をひと言で表した見出しや記事の内容を簡潔に示したリード文などは、十分に練られた言葉で表現されており、国語の「読むこと」や「書くこと」の教材や資料としても、価値のあるものだと言える。あるできごとを、どのような言葉や写真で伝えているか読み取ったり、複数の新聞によってどのような伝え方や言葉の違いがあるか比較してみたりすることで、国語として読解力や表現力を養う上で大きく役に立つと思われる。

N I E 研究部会では、上記のような学習を通して、子どもたちが新聞を身近に感じ、積極的に活用し、さらに国語の力を高めることを願って、本テーマを設定した。

II NIE実践のねらい

1 今ある子どもの姿（このような子どもたちに）

- (1) 新聞の記事に興味をもてなかったり、自分に役立つという意識がなかったりして、ほとんど新聞を読まない子。
- (2) 新聞は文字が小さくて多い上に、専門的な難しい言葉が使われているという印象から、読むことに抵抗をもっている子。
- (3) 自分の伝えたいことを、相手意識や目的意識をもってわかりやすく伝える意欲に欠けていたり、伝える手段や方法を選択したりすることができない子。

2 こんな指導工夫をして

(1) 子どもたちが新聞に親しむことができる環境を設定する。

- ・子どもたちがいつでも新聞の記事を見たり、手にとって読んだりすることができるように校内や教室に新聞を置いておく。
- ・教師が、子どもたちに伝えたい内容の記事を紹介し、新聞に興味をもつことができるようにする。
- ・自分やクラスのテーマを決めて、記事を集めたり、紹介し合ったりする。

(2) 国語の授業で新聞を活用した学習を工夫する。

- ・新聞は、どんなことを、どのようにして伝えているか、実際の新聞から学ぶことができるようにする。
- ・見出しの言葉やリード文、写真やキャプションを対応させながら読むことで、記事の内容や記者の意図を考えたり、自分の新聞作りにもいかしたりすることができるようにする。
- ・同じ記事の内容を、見出しやリード文・写真でどのように伝えているか、複数の新聞を読み比べてみる。

3 願う子どもの姿（このようになってほしい）

- (1) 新聞を身近に感じ、興味をもって進んで新聞を読み、記事から必要な情報を得たり交換し合ったりする子ども。
- (2) 目的をもって新聞を読むことで、見出しやリード文の言葉や写真と記事の内容がどのように対応しているか理解し、自分が新聞を作るときに役立てることができる子ども。

III 研究の概要

1 実践した教科 国語（4年・5年）

2 新聞の提供状況

9月～12月まで 朝日・毎日・読売・中日・信濃毎日・産経・日経を購読した。

3 新聞を取り入れた実践をする上で工夫したこと

- (1) 新聞を身近に感じ、新聞に親しむことができる取り組みや環境作り。
 - ① 校内や教室内に新聞を置き、いつでも新聞を見たり手に取って読んだりすることができるようにする。
 - ② 各自のテーマを決めて、テーマに沿った記事を見つけたり集めたりして紹介し合う活動を行う。
- (2) 国語科で、新聞を教材化して活用する学習の工夫。
 - ① 各学年の単元で、どのように新聞が活用できるか検討し、実践する。
 - ② 新聞から学習した内容と関連する言葉や記事を探したり、見出しやリード文、写真から記事の内容を考えて読んでみる。
 - ③ 新聞の書き方や特徴を見つけたり、複数の新聞の記事を読み比べて、内容や書き方の違いを考えたりして、自分たちが新聞を書くための参考にする。

IV NIE実践の内容

1 子どもたちが新聞に親しむことができる環境を設定する。

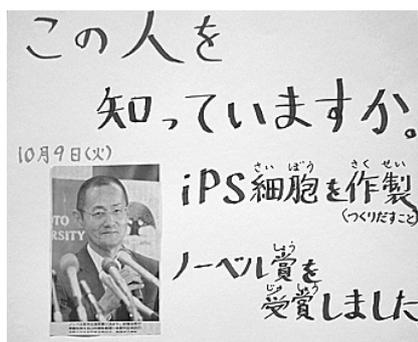
【事例1】 校内に『新聞コーナー』を設置する。

本校で子どもたちが、最もよく通る多目的ホールに机を置き、休み時間など好きなときに、好きな新聞が自由に読めるようにした。

「毎日新聞」「朝日新聞」「読売新聞」「中日新聞」
「信濃毎日新聞」「日本経済新聞」「産経新聞」

さらに、新聞を机に置いておくだけではなく、新聞を読むときに、どのようなことを意識して読んでもらいたいかわかるように、「新聞のつくり」を掲示した。

また新聞の中から、話題になった記事や季節を感じる記事など、子どもたちに親しみやすいと思われる記事を切り抜き、掲示するようにした。また6年生が社会で歴史を学習していることから、歴史に関する記事を掲示するなど、学年の学習に即した内容を取り上げるようにした。



2 国語の授業で新聞を活用した学習を工夫する。

【事例2】 『パン作りについて新聞で伝えよう』（「新聞を作ろう」）（4年）

(1) 子どもたちが、新聞を作るにあたって、相手・目的・状況意識を明確にすることで、意欲的に新聞作りに取り組むことができたと考えた。

(2) 子どもたちが新聞で伝えることが明確になったところで、新聞をどのように作っていったらよいか、実際の新聞を見て、どんなことをどのように伝えているか特徴を考えてみる場を設けた。

(3) 新聞は、読み手に伝えたいことがより伝わるように、いろいろな特徴（工夫）がなされていることを理解した上で、新聞の作り方の順番を確認していった。

(4) できあがった新聞は、みんなに読んでもらえるように、校内で最も人が通る「多目的ホール」に掲示した。その後、新聞作りをしてみての成果や課題を振り返る場を設けた。



【事例3】 『新聞記事からピックアップ』（「新聞を読もう」）（5年）

新聞には、毎日さまざまな記事が掲載されている。その中から、選んだ1つの記事についての紹介文と意見・感想を書いてみることにした。またお互いの取り上げた記事や書いた紹介文を読み合って、感想を伝え合うことにした。

この学習を通して、記事に書かれている内容を読み取る力、記事の紹介に簡潔にまとめる力、読んでみて自分の考えをもち言葉で表現する力を願って取り組むことにした。

【事例4】 『考えよう 言葉の種類』（「漢語・和語・外来語）」（5年）

言葉には、「漢語」「和語」「外来語」という3種類があることを学習した子どもたちが、班で1つの新聞を見合いながら、記事にある言葉を読んで、「漢語が多く使われている記事」「和語が多く使われている記事」「外来語が多く使われている記事」に分類していく。さらに、伝える内容や読み手にあわせて、使い分けられていることを理解してほしいと考えた。

今回の授業では、記事の言葉1つ1つについて、漢語・和語・外来語の3つに分類を判断することではなく、「どんな文章にどの言葉が多いですか」という問いを受け、さまざまなジャンルの記事が載っている新聞を教材として扱ってみた。

【事例5】 全校研究授業

(1) 単元名「1枚の写真が伝えること」
（『アップとルーズで伝える』）

日 時	平成24年11月20日(火)	第5校時
指導者	南信教育事務所指導主事 小林 康宏 先生	
授業者	宮田 奈緒子 教諭	
授業学級	4年3組 男子13名 女子12名	計25名

(2) 単元設定の理由

4年3組では、7月「新聞を作ろう」の単元で、総合的な学習の時間に行ったパン作りについて新聞であらわした。自分たちが体験した活動を新聞にするということで、子どもたちは記事を決めることから楽しんでいた。また下書きをする前に、記事に書きたいことをメモしていき、それをもとにして書いたことで、文章を書くことが苦手な子ども内容をふくらめて記事を書くことができた。また、子どもたちは、活動の様子を写したたくさんの写真の中から、自分が書いた記事に合うものを選び、記事の中に貼っていった。写真があることで新聞全体が見やすく、楽しいものになることがわかり、出来上がった新聞を見て喜ぶ姿が見られた。

10月からは、実際の新聞の中にある写真から「お気に入りの1枚」を探し、スクラップすることに取り組んだ。以前、子どもたちに新聞に関するアンケートをとった際、読むところは『番組表』や『スポーツ欄』が多かったが、字を読もうとすると難しい新聞でも、写真を探すことは子どもたちにとって易しく、より新聞に親しむきっかけの1つとなっていた。

このように、新聞の中から写真を探すことに親しんでいる子どもたちだが、なぜ新聞には様々な写真があるのかということについては、「見やすい」「わかりやすい」という程度の知識しかない。また、『自分がその写真を選んだ理由』のように、簡単に自分の考えを述べることはできるが、送り手がなぜその写真を選んだのかという想像をはたらかせて考えるところまでは至っていない。

そこでまず、教科書の『アップとルーズで伝える』を学習することで、写真や映像には「アップ」と「ルーズ」という撮影の仕方があることを知る。本文には、実際のサッカーの試合の映像も掲載されており、文章と映像写真とを結びつけながら読み進めていくことができる。また、「アップ」と「ルーズ」の違いを対比的な段落構成によって説明しているため、それぞれの長所と短所を読み取っていくことができるであろう。最後に、筆者である中谷日出さんは自らテレビ番組の制作をする立場から、サッカーの試合の映像を例に挙げながら、「受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えて、アップでとるかルーズでとるかを決めたり選んだりしている」と主張している。この主張を読み取ることで、1つの映像でも伝えたいことに合わせてどちらかを選択しているという新たな気付きも出てくると思われる。

この学習をした上で、教科書教材はテレビの映像を例に挙げての説明であるが、新聞も同様に、中谷さんが主張する「受け手が知りたいことや送り手が伝えたいことは何かを考えて、『アップ』でとるか『ルーズ』でとるかを決めたり選んだり」した写真が使われていることに視点を向けるようにしたい。そして、実際の新聞にはどのような写真が扱われているか探してみる学習を設定する。新聞には、ある記事の内容をよりわかりやすく伝えるための補助的なものとしての写真や写真そのものを伝えているものなど、さまざまな写真が掲載されているため、『アップとルーズで伝える』で学習したことを、自分たちの身の回りから探してみるという発展的な学習にふさわしい教材といえる。そして、それらの写真を「アップ」と「ルーズ」にわけ学習に取り組むことで、これまで何気なく見ていた1枚の写真にも、どのような送り手の意図があるかを考えようとするだろう。

このように、新聞に掲載されている1枚の写真にも、その記事を伝える記者の意図があることに気づき、なぜその記事を伝えるためにその1枚を選択したのかという送り手の意図を想像できるようになることを願っている。さらに、送り手の意図を考えながら写真を見ることができるようになったことを、今後の新聞作りなどで自分が送り手となって伝えるための適切な写真を選ぶということにもいかしてほしいと願い、本単元を設定した。

(3) 単元展開の概要

次	学習活動	指 導	評価規準	備考
一 次	(1) 『新聞作り』や『お気に入り一枚』をふり返り、「写真はどんなことを伝えているのか考えよう」という学習課題を設定する。 『アップとルーズで伝える』の全文を読み、段落分けをする。	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが経験していることをもとに、新聞の中の写真の効果を考えられるようにする。 文章にはいくつかのまとまりがあったことを想起させ、一段下がったところに着目して、段落分けができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明的な文章に興味をもって読んでいる。【読】 	教科書
	(2) 写真と文章の対応を考えキャプションをつける。	<ul style="list-style-type: none"> 第1、2段落をよく読んでそれぞれの文章がどちらの写真と対応しているか問い、考えるように促す。 キャプションは、本文中の言葉を使って20文字ぐらいの言葉で短くつけることを伝える。 写真にも段落番号をつけ、文章と写真が対応していることが視覚的にわかるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真と文章を対応させる説明の仕方を読み取っている。【読】 	ワークシート
二 次	(3) 「対比」について学び、本文の中から対比して書かれている段落を見つける。	<ul style="list-style-type: none"> 第3段落の『アップとルーズではどんなちがいがあのでしょうか』という筆者の問いに着目させ、本文では、「アップ」と「ルーズ」について対比して書いている段落構成を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 対比しながら述べる説明のしかたをとらえ、文章全体の構成と段落相互の関係を理解している。【読】 	ワークシート
	(4) 「アップ」と「ルーズ」が伝えられるものと伝えられないものがそれぞれ何かをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 「アップ」と「ルーズ」が伝えられるものと伝えられないものは、「何が分かって何が分からないかな」と問い、文中の『分かります』『分かりません』という言葉に着目して考えていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 文と文との意味のつながりに果たす指示語や接続語の役割を理解している。【言】 	
	(5) 全文を読み返し、段落の内容を短くまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 字数制限をすることで、段落ごとに大事な部分だけを短い言葉でまとめられるようにする。 短い言葉でまとめるのが難しい児童には、書き出しを示したり穴埋めのできる文章を提示したりして、まとめることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> キーワードを用いながら、各段落の内容を短くまとめている。【読】 	ワークシート
(6) 全文を3つに分け、筆者の主張を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> 3つのまとまりに教師が見出しをつけたものを提示し、それぞれの段落がどのまとまりに入るか考えられるようにする。 			
三 次	(7) ペアで、新聞から「アップ」と「ルーズ」の写真を探す。	<ul style="list-style-type: none"> 「アップ」は細かい部分の様子がよく分かるもの、「ルーズ」は広い範囲の様子がよく分かるものであることを確認し、写真を区別できるようにする。 新聞の中から「アップ」と「ルーズ」の写真を探して種類別に色画用紙に貼り分けることで2つの種類の写真を区別できるようにする。 <p>→ピクチャーカード</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「アップ」と「ルーズ」を見分けながら、写真を探そうとしている。【関】 	色画用紙 新聞



(8)それぞれの写真から、記者が伝えたいことをペアで話し合い、ピクチャーカードに記入する。	・写真から視覚的にわかることを書き出すよう促し、記者が伝えようとしたことを考えることができるようにする。	・「アップ」と「ルーズ」の写真から、記者が伝えようとしたことを考えている。 【読】	ピクチャーカード
(9)自分たちが考えたことを記者の方に伝えたり、記者の方から思いを聞いたりする。	・教科書に書かれていた通り、写真には記者の意図があることに気づけるように助言する。	・互いの感じ方や考え方の違いに気づいている。 【読】	

(4) 本時案

① 主眼

新聞の中から『アップ』と『ルーズ』の写真の記事を見つけてピクチャーカードを作った子どもたちが、写真から視覚的にわかることをペアで出し合い、話し合うことを通して、記者がその写真で伝えたいことが何かを考えることができる。

② 指導上の留意点

- ・他のペアが考えたことに対する感想や本時の振り返りを書くための色別の付箋を用意する。
- ・写真だけでなく、記事全体を貼ったピクチャーカードを使用する。

③ 展開

進	学習活動	○予想される児童の姿	・指導 評価	欄
導 入	1 前時に作ったピクチャーカードを見返しながら、記者の話を紹介し、本時の学習内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <学習問題> 新聞記事の写真はどんなことを伝えているのだろう。 </div>	○新聞にも、『アップ』と『ルーズ』の写真があったね。 ○ぼくたちが選んだ写真は、何を伝えようとしているのかな。 ○ルーズの写真だ。 ○消防士さんがたくさんいる。 ○遠くに警察官もいるよ。 ○座っている人もいる。 ○何か大きな事件か事故があったことを伝えたかったんだね。	・前時までに学習した『アップ』と『ルーズ』が伝えられるものは何であったかということ、伝えたい内容に合わせてどちらかの写真が使われているという本文の内容を確認する。 ・実際の記事の写真を提示し、写真から気づくことを発表させることで見る観点を明確に持てるようにする。 ・写真から視覚的にわかることから、記者がその写真で伝えたいことを考えるように促す。	7
展 開	2 ピクチャーカードを見ながら、記者の意図をペアで話し合い、ピクチャーカードに記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <学習課題> 写真をよく見て、記者の人が伝えたいことを考えよう。 </div>	○この写真は、たくさんの人がいるよ。 ○大きい建物に集まっているみたいだ。 ○ルーズの写真だね。 ○ルーズの写真にしたのは、人がたくさんいて、それだけ盛大なことがあるということ伝えたかったんじゃないのかな。 ○いもほりをしたときの写真みたいだ。 ○嬉しそうな顔をしているよ。 ○大きなサツマイモがとれたみたいだね。 ○大きいさつまいもがとれて、とても喜んでる保育園児のことを伝えたかったと思う。	・写真からわかることを書けないペアには、教科書に載っている写真からわかることが何であったか確認し、一緒に考えるようにする。 ・見出しやキャプション、記事を読み、わからない言葉が出てきて困っている児童には、読み方や意味を教える。 ・記者が伝えようとしたことを適切にとらえられないペアには、見出しやキャプションを一緒に読みながら考えられるようにする。	15
	3 近くのペアでピクチャーカードを交換し、他のペア	○大きい建物にたくさん人が集まっている写真だと思ったけど、170万人と	・ペアで話し合っって書き込んだピクチャーカードを互いに読	

	<p>が話し合っって書きこんだことを読んで感想を書く。</p>	<p>書いてあるから、それだけの人が集まれる場所ということは、本当にでかい建物だと思いました。</p> <p>○本当にサツマイモがとれてうれしそうな園児がいるよ。</p> <p>○写真のさつまいもは、とてもおいしそうだね。</p>	<p>み合う場を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達を書きこんだことに対して、賛成や付け足し、反対意見を付箋に書いてピクチャーカードに貼ることで、互いの考えを交換できるようにする。 <p>賛成意見…ピンク 反対や付け足し意見…青</p> <p>写真からわかることを出し合い、記者がその写真で何を伝えようとしたのかを考えられたか、話し合いの様子やピクチャーカードに書かれた内容から評価する。</p>	10
ま と め	<p>4 本時の学習をふり返り、次時の学習への見通しをもつ。</p>	<p>○この記事の写真を見て、初めはたくさんの人が集まったということを伝えたい写真だと思ったけど、よく見ると建物の大きさのこともわかりました。</p> <p>○この記事の写真を見て、とれたさつまいもの大きさや保育園の子が喜んでることがわかりました。アップの写真は、本当に細かいことがよくわかると思いました。</p> <p>○記者の人は、ぼくたちが想像したようなことを本当に伝えたかったのかな。</p> <p>○本物の記者さんからお話が聞けるなんて、楽しみだな。</p> <p>○自分が想像したことを、記者さんに伝えてみたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他のペアに書いてもらった感想を読み、本時の活動のふり返りを付箋に書くようにする。 ・いくつかのペアに、話し合った結果や感想、他のペアから伝えてもらったことについて考えたことなど発表する場を設ける。 ・画面に写真を映し出し、全員で共有できるようにする。 ・次時は、記者の方に来ていただき、実際に話を聞く場を設けることを伝えることで、興味をもつことができるようにする。 	13

(5) 授業の実際と考察

①ペア学習での追究の様子

	<p>空港のクリスマスイルミネーションの写真 (ルーズ)</p>	
A 児	「これってけっこうでかくない?」「あっ、人がいる。」	
R 児	「あっ、空港。」	
教師	「すご〜い、何で空港って分かったの?他にも分かったことをどんなことでもいいから書いてみて。」	
R 児	「他に何かある?」	
A 児	「『あったかクリスマス』と書いた看板がある。」	
教師	「ここ(記事)を見ると何か書いてあるかな?」	
R 児	「色がたくさんあるね。」	
A 児	「何で空港でやるんだろう?」	
R 児	「それだけ、でかくしたかったんじゃない?」	
教師	「アップじゃなくてルーズにしたのは、飛行機を入れたかったんだね。」	

C評価のペアで、最終的にピクチャーカードへの記入はできなかったが、二人でのやりとりや教師の助言によって、写真の細かなところまで注目し、せいっぱい記者の意図に近づこうという学習の姿が見られた。

②考察

○ペアで考えたことを他のペアと交換して見合う時間を設けたことによって、自分たちとは違った意見をもらうことができたり、考えられなかったことにヒントをもらうことができたり

したペアがあった。何について意見を交換するのかを明確に示すことで、こういった話し合いの活動が有効にはたらくことがわかった。

- 教師は、本時、写真からわかることを元に記者の意図を想像することができてほしいと考えていたが、子どもたちの意識の中では、『写真からわかること』と『記者の意図』の違いが明確ではなく、『記者の意図』を想像することに難しさを感じていたペアもあった。『記者の意図を読み取る』ということはつけない力だが、1時間の中で『写真からわかること』と『記者の意図を読み取ること』の両方を考えるのではなく、それぞれのペアが考えた『写真からわかること』を元に全体で『記者の意図を想像してみる』というように、段階を踏むことが必要だったと思う。

V 研究のまとめ

1 成果

① 子どもたちが新聞に親しむことができる環境を設定する。

実際に新聞を手にとって、めくったりする姿が見られたことから、新聞を身近に感じることができるようになったと思われる。また、毎日7部もの新聞を置いたことで、同じ日の新聞でも取り上げる記事が異なること、同じできごとでも伝え方が異なることを知ることができたと思う。

さらに、新聞の記事に興味をもつことができるように、テーマを決めて記事を掲示して紹介した。新聞には、どのような内容の記事があるのか、また世の中のできごとをどのように伝えているのか分かることができた。

② 国語の授業で新聞を活用した学習を工夫する。

国語の学習の中で、新聞を活用したどのような学習を行うことができるか検証し、実践した。授業の中で、子どもたちは興味深そうに、また楽しそうに新聞を手にとって記事を読んだり、考えを出し合ったりする姿が見られた。子どもたちの実態として、「新聞を読まない」子が多く、新聞に対する抵抗があると考えられたが、意図的に教師が新聞を学習に取り入れることで、むしろ抵抗なく新聞を読む姿が見られた。

国語の教科書で学習したことを、日常の場でどのようにいかすことができるかが求められるが、新聞はその発展的な教材として、国語の力を高める教材として価値のあるものである。

ただし、授業で扱う新聞はいつの新聞でもよい場合もあるが、つける力やねらいによって、教師が意図をもって選択した新聞を使うようにしたい。

新聞を教材として活用することは、記事を詳細に読み、書いてある内容を理解することに限らない。言葉を探したり、写真を見たりすることも国語の学習に位置づけることができる。特に写真は、記事の補助的なものもあるが、写真をメインにした記事もあることから、写真だけを見て、いろいろな自分の考えをもち、伝え合うという国語の学習もできる。さらに、複数の新聞記事を読み比べたり、写真を見比べたりして、気づいたことや考えたことを表現する学習も国語の力を高めることにつながるであろう。

2 課題

① 新聞の記事内容に興味を持たせるための工夫をする。

全校児童に向けた内容の掲示が中心であったが、もう少し各学年の学習内容や興味関心に対応した記事を掲示することができればよかったと思われる。また先生方や児童への、啓発も不十分で、もう少しできればよかった。

② 国語学習での活用の可能性を探究していく。

まだまだ、新聞は実際の授業で教材化しづらい、扱いづらいと考えられがちであるが、どのように教材化できるか、さらに検討し工夫できる部分はあると思われる。

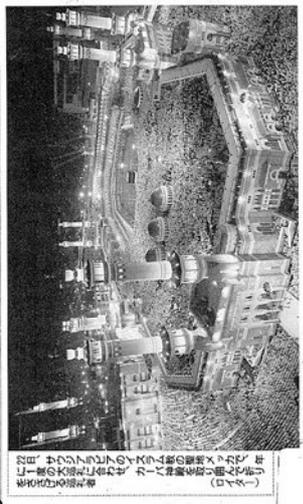
国語を学習しても、新聞が読めない（例えば、新聞などの資料から情報を適切に選択して得ることができない）のではなく、日常に役立つ国語の力を身につけるために、国語の教科書教材で学習して、その学びを生かすような新聞との関連をさらに探求していくことができれば、新聞は教材として必要なものになってくるであろうと思われる。

VI 資料

1 ピクチャーカード

色画用紙（アップの写真は赤、ルーズの写真は緑）の上半分に新聞から切り抜いた写真を貼り、下半分に気づいたことや考えたことを記入する学習カードを貼ったもの。

＜ルーズのピクチャーカード＞



22日 かわの入り口から見たルーズの夜景（ロケター）
ルーズの夜景は、ルーズの夜景を撮影した。ルーズの夜景は、ルーズの夜景を撮影した。ルーズの夜景は、ルーズの夜景を撮影した。

①この写真をよく見るとわかることは…
 ・どんな小さなことでもいいよ、わかることをできるだけたくさん書いてみよう。

- ・たくさん人がいる。
- ・大ざっぱに牛乳
- ・夜のまにに明るい
- ・おびんがたいてい
- ・ガソリンがたいてい
- ・電気が高そう
- ・会場の音がすごい
- ・おもしろい建物
- ・木造の建物
- ・牛物の事、会場は
- ・全体のことで、
- ・人がたくさんいるの
- ・がたいてい

②このアップの写真で新聞記者は、
 人がたくさんいて、あれだけすごい大げさなことがあるといっていることを
 伝えたいと思います。

↑↑↑と読み合って、気づいたことや思ったことを付箋に書いて伝えました。

＜アップのピクチャーカード＞



近所の農産物
 園児ら、歓声あげ収穫
 サツマイモ 盗難被害 安曇野・明科 商保育園

①この写真をよく見るとわかることは…
 ・どんな小さなことでもいいよ、わかることをできるだけたくさん書いてみよう。

- ・本園の子どもたちがサツマイモを収穫している。
- ・サツマイモが大きいことも喜んでいる。
- ・本園に、サツマイモが
- ・これくらい大きい園児
- ・いる。
- ・写真のサツマイモは、
- ・とてもおいしいそう。

②このアップの写真で新聞記者は、
 大きいサツマイモがとれてとても喜んでいる園児のことを
 伝えたいと思います。

2 各学年の国語科単元と新聞活用の関連表

分類	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
新聞記事から探してみよう	<p>○かたかなをみつけよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞の中から、かたかなで書かれた言葉を探してみる。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ウ 文字に関する事項 (ウ) 	<p>○かたかなの広場</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞の中から、かたかなで書かれた言葉を探してみる。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ウ 文字に関する事項 (ウ) <p>○ようすをあらわすことば</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞の中から、様子を表す言葉(擬態語)を探してみる。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言語の特徴やよまりに関する事項 (ア) 	<p>○きつつきの商売</p> <ul style="list-style-type: none"> お話に出てくる音を表す言葉(擬音語)を知り、新聞から探してみる。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言語の特徴やよまりに関する事項 (オ) <p>○国語辞典の使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞の見出しで読み方は分かるが、意味が分からない言葉を探してみる。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言語の特徴やよまりに関する事項 (カ) 		<p>○和語・漢語・外来語</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞の見出しなどから、和語・漢語・外来語をさがしてみる。 どんな文章(記事)に、和語・漢語・外来語が多いか探してみる。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言語の特徴やよまりに関する事項(カ) 	
新聞記事を読んでもよう				<p>○アップとルーズで伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞では、写真や言葉で、何を、どのように説明しているかを考える。 1枚の写真から、記者が伝えたいことを考えることができる。 〔C〕オ 	<p>○新聞を読もう</p> <ul style="list-style-type: none"> 2つの新聞がのせた写真と、記事の見出しを見比べ、どこが、どう違うか気づいたことを考える。また、その違いによって、受ける印象がどのように変わるか考える。 〔C〕イ 	<p>○感情 ○生き物はつながりの 中に</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞の社説を読み、筆者の考えに対する自分の考えをもつ。 〔C〕カ
新聞記事を利用しよう			<p>○しりょうから分かったことを発表しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞にある、グラフや写真、絵などのしりょうから、どんなことが分かるか発表する。 〔C〕オ 	<p>○うなぎのなぞを追って</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書で学習したことをいかし、新聞の同じ記事について、自分がもっとも興味深く感じたところを中心にしようかいつる。 新聞を読んで、「科学っておもしろい。」と思うことの内容を、友達にしようかいつる。 〔C〕カ 	<p>○豊かな言葉の使い手になるためには</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞記事の中から、討論の話題を考える。 <p>○天気を予想する</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞記事の筆者は、どのような意図で文章を構成し、図・表・グラフや写真などを用いたのか考えながら、表現の工夫に着目しながら文章を読む。 〔C〕ウ <p>○グラフや表を引用して書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> 図や表、グラフや写真が使われている新聞記事を探し、文章と照らし合わせながら、それらの資料が表している内容を読み取り、また、それを用いた筆者の意図や効果を考える。 〔C〕オ <p>○物語を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞に掲載されている写真から好きな1枚を選び、写っている物、物や周りの様子を表す言葉、それらから連想される言葉を、できるだけたくさん書き出してみる。 写真をもとに想像を広げて、自分だけの物語を書く。 〔B〕ア 	<p>○学級討論会をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> (討論会の話題例)を、新聞記事から探す。 〔A〕ア <p>○この絵、わたしはこう見る</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞の中から、1枚の絵を探し(教師が提示し)、「何が」「どのように」かかっているか、絵からどんなことを感じるか考える。
新聞を作ってみよう		<p>○今週のニュース</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達に知らせたいことを、紙に書いてはる。班などで1つの台紙にはり、かべ新聞のようにする。 〔B〕ア 		<p>○新聞を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞のとくちょうを知る。 学習したことや調べて分かったことを、新聞にまとめる。 〔B〕ア <p>○仕事リーフレットを作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちが新聞で伝えたいことを、写真と組み合わせて文章にまとめる。 〔B〕ウ 	<p>○次への一歩</p> <ul style="list-style-type: none"> 報告書の冒頭部分に、新聞のリード文のように活動の大体の内容をかたんにまとめるために、複数の新聞のリード文を読み、共通して書かれている事柄を考える。 〔B〕ウ 	<p>○ようこそ、わたしたちの町へ</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的な構成や材料の配置、記述を考えて編集しよう～ パンフレットの代わりに、新聞を作る。 〔B〕イ